



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2643 2024-9-27

創 立 1969. 5. 30
幹 事 野村 篤

会 長 石 濱 宏 章
会報委員長 元 氏 成 保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ
事務所〒542-0012 大阪市
中央区谷町9丁目1番22号
NK谷町ビル407号
TEL (06) 6796-9898
FAX (06) 6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: jonan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場シェラトン都ホテル大阪
上本町6-1-55
TEL (06) 6773-1111
例会日 金曜日 12:30



2024-2025 年度 RI 会長
ステファニー・A・アーチック

本日の例会

9月27日(第4例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- ディスカッション「会員増強について」
- 食膳 <フランス軽食 ソースカツ丼>

次週のお知らせ

10月4日(第1例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 表彰 ・ホームクラブ連続皆出席
- お祝 ・誕生日 結婚記念日 会社創立記念日 入会記念日
- 卓話「スポーツエンターテイメントを通じた社会奉仕活動」
大阪プロレス(株) 社長兼選手 大林賢将様 (リングネーム:ゼウス)
(恒元直之社会奉仕委員長担当)
- 理事会 シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 第2回クラブフォーラム(社会奉仕) 13:40~15:00 シェラトン都ホテル大阪 3階 葛城の間
- 食膳 <日本 松花堂弁当>

次々週のお知らせ

10月11日(第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「デンマーク研修記録」 細川直人会員担当

先週の記録

9月20日(第3例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

出席報告

出席会員 32名(内免除会員9名)
 会員総数 41名(同上14名)
 ゲスト 0名
 ビジター 0名

計 32名

ホームクラブ出席率 88.88%

9月6日(第1例会)補正出席率 97.14% (MU3名)

ゲスト&ビジター(敬称略)
無し

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか



皆様こんにちは。先週 13 日のガバナー公式訪問の及び合同例会にご参加いただき誠にありがとうございます。

さて、9 月は基本的教育と(しきじりつ)識字率向上月間です。先週の合同例会の時も小林雑誌広報委員長からお話がありましたが、字を読めない子供がいる中で、成長して本が読める様になれば、何よりも素敵な贈りものだと思います。低い識字率を回復し、子どもたちが学校に通えるようにするためのグアテマラのプロジェクトのお話。

今年 4 月、国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長がグアテマラ高地の農村にある小学校を訪れたときのこと、「この国の大統領になりたい人は誰？」と尋ねると、生徒たちの手が一齐に上がりました。ロータリーが支援する読書プログラムが村で始まる前は、生徒たちが 2、3 年で退学してしまうことがよくあったそうです。「読書は私たちの社会を変えるでしょう。読書は無知を克服するための強力な手段です」と、校長のヴィルマ・ニゼス・モレイラさんは話します。

学校では通常スペイン語で授業が行われますが、グアテマラでは約 25 の言語が話されており、それらの地域的な言語で書かれた教材はほとんどありません。

グアテマラ識字プロジェクトは 25 年にわたり、読書率の向上に取り組んできました。オハイオ州出身の兄弟、ジョー・バーニングーさん(パスウェイズ・ロータリークラブ会員)とジェフ・バーニングーさんは、1997 年、図書がないグアテマラの学校で英語教師としてボランティア活動をしていました。二人は、それを解決するためのプロジェクトを立ち上げたのです。本が届いた日には盛大なお祝いが行われました。近くでボランティアをしていた歯科医のロータリアンが騒ぎを聞きつけ、何事かを尋ねました。事態を知った彼は、「ロータリーにぴったりのプロジェクトだ」と言ってくれたそうです。

校長のヴィルマ・ニゼス・モレイラさんは、グアテマラ識字プロジェクトの大きな成果を目の当たりにしています。

グアテマラのロータリアンは、ほかの学校での読書プログラムも支援しており、1997 年以来、ロータリー財団は 48 件、総額 650 万ドルの補助金を識字率向上のために提供してきました。これまでに 90 地区、800 近くのクラブが参加しており、多クラブ、多地区合同の草の根プロジェクトとしては、ロータリーで最大級のものとなっています。この活動は、米国の非営利団体「Cooperative for Education」からも支援を受けています。「ロータリーの推進力と熱意があればこそ」と話すのは、Cooperative for Education のパートナー開発担当ディレクターで、パスウェイズ・ロータリークラブの会員でもあるハワード・ロブさんです。

最初の教科書プロジェクトから、コンピューター室の設置、奨学金、書籍の提供、教師研修など、活動は広がっています。

学生は教科書のレンタル料を支払い、そのお金は回転資金に回され、5 年後に教科書を交換するために使われます。「ロータリーの寄付が種となり、学校は自分たちで貯めたお金で教科書を買って交換することができます」とロブさん。

村の学校のモレイラ校長は、奨学金で大学に進学した元生徒を振り返ります。その生徒は、ノーベル賞を受賞したパキスタンの活動家、マララ・ユサフザイさんについての本を読んだそうです。「現在、この生徒はマララさんのように大きく成長することを望んでいます」と彼女は言う。「読書が彼女の人生を変えたのです」。(My ロータリーより引用)

委員会報告



・青少年奉仕委員会 山本哲史副委員長

9/17(火)に行われましたRAC例会にて、次回10月7日(月)19:30-の例会内容がボーリング例会になりました。

ロータリアンの皆様もぜひご参加くださいとご連絡頂いています。場所は難波千日前のラウンドワンを予定しております。日時の連絡が直前であったため、出欠の確認は私から別途メールにて皆様にご案内いたします。

なお、会場予約の関係上、次週中の参加申込とさせていただきます。景品も寄付もご好意頂けますと幸いですとのことで、多数のロータリアンの皆様のご参加をお待ちしております。

卓 話



「戦後79年を振り返って」

岡倉三郎会員担当

太平洋戦争は、1941年12月8日に日本が米英両国に宣戦布告し、日本海軍航空隊が米国ハワイの真珠湾にあった米国太平洋艦隊基地を奇襲攻撃したことにより始まりました。

開戦初期は優勢であった戦況も、本格的な米軍の反撃により熾烈な激戦が繰り広げられ、日米双方が多大な犠牲と損害を被りながらも、物量に勝る連合国軍が次第に優勢となり、終盤には広島、長崎に

原子爆弾が使用される等、戦況は決定的なものとなり1945年8月15日、日本がポツダム宣言を受託するという形で終戦を迎えました。

その間、兵員の増強を図るべく、昭和19年には学徒動員令なども発令され、多くの大学生がペンを銃に持ち替えて戦地に送られました。私の兄も東京の大学に行っていたのですが、招集されて中国、武漢の戦地に送られ、戦後届いたのは戦死の公報だけで、二度と日本の地を踏むことはありませんでした。

その様な事がありまして、私、現在、大阪府遺族連合会の会長、日本遺族会の常任理事等をさせて頂いております。そして大きな犠牲から学んだ平和の大切さ、命の尊さと云った事を、未永く次世代に伝承し、平和な世の中が続く事が戦没者に対して一番の供養になるものと考え、平和学習活動に力を入れて頑張っております。



米山功労者表彰

第2回マルチプル 奥田会員



米山功労クラブ表彰

ニコニコ箱

9月20日(第3例会)

- ・小原会員 例会2回欠席お詫び。その節はお騒がせしました。田中さんありがとうございました。
- ・青野会員 石濱会長、濱田さん昨日はごちそうさまでした。北新地の夜を堪能しました。寝不足、二日酔いです。
- ・その他、お祝い1件

本日のニコニコ合計：12,000円

本年度ニコニコ累計(2024年9月20日現在)：663,000円

9月のロータリーレート

1ドル=145円

【会報委員会からのお願い】

本年度がスタートして、早や3ヶ月が経過しようとしています。

本年度の会報では、「先週の記録」として、例会の内容を記載することはもちろんのこと、例会以外のクラブの活動(酒味の会などを含む各委員会の活動)に関する記事を積極的に掲載していきたいと考えております(例えばNo.2641をご覧ください。酒味の会や野球部の記事を掲載しています)。

会員の皆様におかれましても、会報への掲載を希望する記事がございましたら、(できれば写真と共に)会報委員会までご連絡下さいますようお願い致します。各委員会などの活動を会員内に周知することはクラブの活性化にもつながりますし、会報委員会と致しましても、より充実した紙面作りをしていきたいと考えております。

(編集担当 村上・小林(治))